

『小児先天性水腎症（腎盂尿管移行部通過障害）診療手引き 2016』英文版の完成と International Journal of Urology 誌掲載のご報告

この度、河野美幸先生ら本学会会員諸氏の尽力で、『小児先天性水腎症（腎盂尿管移行部通過障害）診療手引き 2016』の英文版が日本泌尿器科学会およびアジア泌尿器科学会のオフィシャルジャーナル“International Journal of Urology”誌にアクセプトされ掲載の運びとなりました。ここにご支援、ご協力頂いた会員諸氏に厚く御礼を申し上げますとともに御報告いたします。

本手引きは、小児先天性水腎症に対するフォローアップや手術適応について、アルゴリズムで明快に示されているだけでなく、検査診断の適応、開放手術・腹腔鏡手術・ロボット手術などの有用度が一覧で示されています。

現状、同種のガイドラインは存在しないため、世界に誇れるものと自負すると同時に、本学会の活動のより一層のグローバル化の礎になるものと期待しています。

日本小児泌尿器科学会 理事長

金子一成